

社会科学習指導案

海田町立海田西小学校

- 1 日時 平成29年 9月12日(火) 5校時
- 2 学年 第4学年1組 男子12名 女子14名
- 3 単元名 安全なくらしを守る 「1 なくそう、こわい火事」
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領第4学年(4)ア「関係機関は、地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。」を受け設定したものである。

地域社会における災害や事故から人々の安全、命を守るための機関である消防署の働きや施設、そこに従事している人々の工夫や努力を調べることで、施設や設備の整備や点検、訓練や広報活動などに取り組み、火災の予防や発生時に対する備えをしていることを考える。また、地域の人々が消防署と連携し、火災通報や避難訓練の実施、地域の消防団による防火、防災を呼びかける活動を通して、予防に協力し未然に甚大な被害を防ぐ努力をしていることを、具体的に考えたり、調べたりすることができる教材である。幸いにも校区内に見学可能な安芸消防署があり、海田町では年に1度、町民参加の町内防災活動を行っている。この経験も生かすことができる単元である。

(2) 児童観

本学年の児童は、事前アンケートによると、「社会科が好き」と肯定的に回答した児童が約64%いる。その主な理由は、「見学に行けること」「みんなと話し合っているところ」「自分の疑問が解決できること」であった。これに対して、「課題に対して自分で資料を見つけること」「調べたことを順序立てて説明すること」については苦手とする傾向がある。

児童も校区内に安芸消防署があることや、消防署の緊急番号が119であることは全員が知っている。消防署の仕事については、ほとんどの児童が「よく知っている」と回答し、理由は「火事が起きた時に、火を消す仕事」「けがや病気の人を病院へ運ぶ仕事」としている。消防と救急の両面からその仕事について捉えているが、それ以上の仕事内容は見えていない。「火事がない時は、何をしているのだろう」という疑問が数多く挙げられていた。このように、消防署の仕事の中で、防災推進活動、設備点検活動、広報活動について、児童にとっては未知の部分ということが分かる。

(3) 指導観

指導に当たっては、最初に、海田町の火事の現状について、安芸消防署から出されているグラフから、毎年火事が起き、多くの人々が被害に遭っていることに気付かせ、「わたしたちは、火事や水害、地震などの災害から、どのようにして守られているのだろう。」という学習課題をもたせる。また、火事の原因や件数に着目させ、消防署の活動に関心をもたせたい。次に、火事が燃え広がる速さと消防署の位置を示した地図から火事現場に早く着くための取組や、消防署で働く人々の活動について話し合わせ、見学に向けて意欲を高めた上で、情報の収集を図る。

見学では、事前に見学カードに調べたいことや自分のテーマ(課題)を書かせ、予想を立てさせる。消防署では、少しでも早く出動するために様々な工夫がされていることや、火災発生時には関係諸機関が相互に連携して消火や救助に当たり、事態に対処していることを考えさせたい。さらに普段から消防署で働く人が、施設や設備の整備や点検、訓練、広報活動などに取り組み、火事の予防や発生時の備えをしていることを理解させ、この後、自分たちの学校の消火設備についても主体的に調べさせたい。

学校の消防設備や地域の防災活動に目を向けさせる中で、消防団の存在を知り、どのような活動をしているのか調べる。その際には保護者の協力を得ながら学校や地域の安全は、互いに協力し共に助け合って守ること、地域社会の一員として、自分たちの安全は自分たちで守ることが大切であることにも気付くようにしたい。そして、「自分たちにこれからできることは何か」と具体的に考えさせるようにする。課題解決に向けて調べて分かったことは、新聞作りを通して発信させるようにしたい。

(4) N I E 活用の意図

消防署にとって地域住民の安全な暮らしを守ることは、大切な責務である。その活動は多岐にわたって新聞で報道されることが多い。「火事における消火活動」、「事件、事故等における救急活動」、また、「地域における防災活動」など、新聞紙上に必ずと言っていいほど紹介されている。その新聞記事をもとに、消防署の主な活動である「消防・救急活動」「防災活動」「広報活動」の三点の学習において新聞記事を活用した授業を導入部分に行えば、消防署の活動に興味をもって課題解決に取り組むことができるのではないかと考える。そして、身の回りの安全や安心して暮らせる町作りにおいても、資料の一つとして役立てることができ、児童がもつ課題の解決や今後の学習にも生かすことができると考え、N I Eを活用した。

5 単元の目標

- 地域の人々は、その願いを実現するためにさまざまな工夫や努力、協力をしていること、その結果、人々の安全な生活の維持と向上が図られていることに興味をもち、地域社会の一員として協力しようとしている。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**
- 地域の人々の安全を守るための諸活動について学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことを基に、地域の人々の安全を守る諸活動の特色や、それらと地域の人々の安全な生活の維持と向上との関連について考え、調べたことや考えたことを適切に表現することができる。 **【社会的な思考・判断・表現】**
- 地域の人々の安全を守る諸活動の様子を的確に見学したり、調査したりするとともに、調べた過程や結果をノートや作品にまとめることができる。 **【観察・資料活用の技能】**
- 地域の人々の安全を守るための関係諸機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力を理解することができる。 **【社会的事象についての知識・理解】**

6 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における災害から、人々の安全を守る工夫や努力に関心をもち、意欲的に調べている。 ・地域社会の一員として安全を守るための活動に協力しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題や、予想、学習計画を考え、表現している。 ・安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を地域の人々の生活と関連付けて考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署や設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査したり資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことをノートや新聞などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関は地域の人々と協力して、災害の防止に努め、関係諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていることを理解している。 ・人々の安全を守るための関係機関の働きや従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。

7 単元で育てたい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①課題発見・解決力、②主体性、③チャレンジ精神、④自らへの自信の4つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
①課題発見・解決力	学習課題を考えたり、解決に向けて予想や学習計画を立てたりして、表現方法を工夫している。
②主体性	地域社会の一員として、安全を守るための活動に協力している。また、災害から人々の安全を守る工夫や努力に関心をもち意欲的に調べようとしている。
③チャレンジ精神	消防署やその設備を見学して、聞き取り調査をしたり資料を活用したりして、必要な情報を収集・分析しようとしている。
④自らへの自信	安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を、地域の人々の生活と関連付けるなど、調べたことをノートや新聞、ポスターなどにまとめて表現している。

8 単元の学習指導計画（全 12 時間）

	時	学習内容	評価				
			意欲	思考	技能	知識	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
一 (つかむ)	1 本 時	課題の設定 ○火事の写真やグラフを見て、火事の様子や火事の原因、消火活動に従事する人々の働きなどについて気付いたことを話し合い、学習課題を設定する。	○				・消火活動に従事する人々の活躍に関する新聞記事や写真・グラフ資料をもとに、様々な形で地域の安全が守られていることに関心を持ち、意欲的に話し合っって学習課題を設定している。(行動観察, ワークシート) N I E ★記事の内容と学習課題を関連付けて考える力 (観察, ワークシート)
	2	情報の収集 ○海田町で起きた火事について調べることで、件数や原因について話し合い、消防署の仕組みやそこで働く人々に関心をもつ。	○				・海田町の火事に関する各種の統計資料から身近に起きている火事の原因や消火活動に関わる人々の仕事について関心を持ち、意欲的に調べている。(行動観察, ノート) ★資料を活用し必要な情報を収集しようとする力 (観察, ノート)
	3	○消防署の火事に対する取組や、そこで働く人々の活動について調べたいことをノートにまとめる。	○				・火事が発生したとき、一刻も早く火事現場に到着できるように消防署が配置されていることに気付き、消防署の見学に向けて意欲的に調べている。(行動観察, ノート) ★課題解決に向けて主体的に調べようとする力 (観察, ノート)
	4 5	○安芸消防署を見学し、火事に素早く対応するための消防署の施設や設備の工夫、働く人々の仕事や働きを見付ける。			○		・見学や聞き取りを行い、消防署の施設や設備の工夫、働く人々の仕事や働きを見付け、ノートにまとめている。(行動観察, 見学カード, ノート) ★消防署の施設を見学し、聞き取り調査をする力 (観察, 見学カード)
二 (追求する)	6	整理・分析 ○ 119 番通報の仕組みを調べ、火事に素早く対応できる通信司令室の役割や関係機関との協力体制について考える。		○			・ 119 番の仕組みを調べることを通して、災害時の対処の方法を身に付けるとともに、消防本部の通信指令室の役割や関係諸機関との連携・協力体制について適切に表現している。(行動観察, ノート) ★必要な情報を整理, 分析する力 (観察, ノート)
	7	○消防署で働く人々が日頃から防災のために行っている工夫や努力について考え、適切に判断し、表現する。		○			・見学したことや新聞記事から、消防署で働く人々が日頃から防火, 防災のために行っている様々な仕事やその一つ一つの目的, 仕事への思いを考え、適切に表現している。(行動観察, ノート) N I E ★必要な情報を整理, 分析する力 (観察, ノート)

	8	○学校の消防設備を調べ、その配置図を基に話し合うことから、学校には消防設備が整備されていることを理解する。			○	・学校における火事に備えるための設備について調査し、白地図にまとめるとともに、その配置図からどのような備えがあるのかを読み取っている。(行動観察, ノート) ★学校の安全を守る工夫や努力に関心をもって意欲的に調べる力(観察, ノート)
	9	○海田町の消防設備や消防団の働きを調べ、町を守ろうとしている消防団の思いを考える。			○	・消防設備の配置の地図から気付いた工夫と、地域を守ろうとしている消防団の思いを読み取っている。(行動観察, ノート) ★消防団の働きについて必要な情報を収集し分析する力(観察, ノート)
	10	○地震などの災害の恐ろしさについて調べ、海田町の防災の取組について考える。			○	・私達の住む日本が、自然災害の多い国であることや海田町の防災の取組を知り、災害に対して都道府県を超えて協力、活動することの大切さを考えようとしている。(行動観察, ノート) ★海田町の防災の取組について必要な情報を収集し分析する力(観察, ノート)
三 (考え表現する)	11	振り返り ○災害に備える事例について交流することを通して、地域の一員として何ができるかについて考える。			○	・防災訓練など、災害に備える身近な事例について、新聞記事や海田町の防災訓練の写真をもとに交流することを通して、「自分たちで今すぐにできること」について考え、ノートなどに表現している。(行動観察, ノート) N I E ★地域社会の一員として、安全を守る活動にどのように参加していくのかを考える力(観察, ノート)
	12	まとめ・創造・表現 ○これまでに学習してきたことを基に、消防署で働く人々の工夫や努力について話し合うことを通して、消防署の働きについて自分の考えを深める。			○	・消防署の活動について目的ごとにまとめることにより、人々の安全を守る努力や工夫について考えようとしている。(行動観察, ノート, 新聞, 発表) ★調べたことを新聞などにまとめて表現する力(観察, ノート, 新聞, 発表)

9 本時の学習

(1) 本時の目標

火事の写真やグラフを見て、火事の様子や火事の原因、消火活動に従事する人々の働きなどについて気付いたことを話し合い、学習課題を設定することができる。

(2) 本時の評価規準

消火活動に従事する人々の活躍に関する新聞記事や写真・グラフ資料を基に、様々な形で地域の安全が守られていることに関心を持ち、意欲的に話し合っって学習課題を設定している。

(3) 準備物

消火活動をしている写真、拡大した新聞記事、主な出火原因別の出火件数(グラフ)

(4) 本時の展開

	学習活動	(◇) 指導上の留意点 (◆) 配慮を要する児童への支援	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 火事現場の写真から消火活動に携わる人々の様子に気付く。 ○ 火事現場の様子を見てどのような人達が火事を消すために活動しているでしょうか。	◇現場の写真から、消火活動に関わる人々の働きに注目させる。	
	写真と新聞記事から、これから調べていきたいことを出し合おう。		
展開	2 火事の発生件数や火事による被害、原因などを新聞記事から読み取る。 ○ 新聞記事を読んで分かったことを話し合ひましょう。	◇資料から、火事の件数、被害、原因について読み取らせる。 ◆新聞記事に読み仮名をつけたワークシートを用意する。	★記事の内容と学習課題を関連付けて考える力（観察、ワークシート）
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・1週間で火災が5件もあり、5人もの人が死傷している。 ・半年で47件の火災は多いと思う。 ・たばこの火や放火の件数が多い。 ・火災を予防するための活動もしているんだ。 </div>		
まとめ	3 グラフ資料を読み取る。 ○ 火事の発生件数が減ってきているのはどうしてでしょう。	◇火事の原因には気を付ければ防げるものもあることに気付かせる。 ◇火災件数が減って来ていることにも注目させ、詳しく調べたいことを話し合わせる。	
	4 学習したことをもとに、これからの学習課題を設定する。 ○ これから調べていきたいことについて話し合ひましょう。	◇学習課題を消防署の主な活動である消火活動と救急活動、防災活動、広報活動などに分けて考えさせる。	○消火活動に従事する人々の活躍に関する新聞記事や写真・グラフ資料をもとに、様々な形で地域の安全が守られていることに関心をもち、意欲的に話し合ひて学習課題を設定している。(行動観察、ワークシート)
<ul style="list-style-type: none"> ・私達の住む町では、毎年何件もの火事が起こっていることが分かった。火事の現場では、消防士の人はどんなことを考えて行動しているのだろう。 ・救急車ではどんな活動をしているのだろう。運ぶだけなのかな。 ・避難訓練では消防署の人が来て教えてくれたけれど、火事の無いときには消防署の人は何をしているのだろう。 ・消防署からのポスターやお知らせは、何のためにしているのだろう。 ・消防署に見学に行つて消防署のひみつや工夫についていろいろ調べたいな。 			
	5 今後の学習の見通しをもつ。	◇次時の学習内容を知り、見通しをもたせる。	

(5) 板書計画

安全なくらしを守る

めあて 写真と新聞記事から、これから調べていきたいことを出し合おう。

新聞記事

グラフ資料

- ・ 1週間で火災が5件。
- ・ 5人もの人が死傷。
- ・ 半年で47件の火災は多い。
- ・ たばこの火や放火の件数が多い。
- ・ 火災予防のための活動をしている。
- ・ 消防車から放送している。

- ・ 放火が1番多い。
- ・ 2番がたばこの火だ。
- ・ 3番がこんろだ。
- ・ 1年間だとすごく多いな。
- ・ 前の年と比べてへっている。
- ・ 海田町は年々へっている。

【学習課題】

(消火) 火事の現場はこわくないのか。
消防車や服、持ち物に工夫はあるのか。

(救急) 救急車はどんな活動をしているのか。

(防災) 火事の無いときは何をしているのか。
年々火事の件数がへっているのはなぜ。

(広報) 町の人にどうやって防火や防災を呼びかけているのか。

↓

「消防署のひみつ発見！」

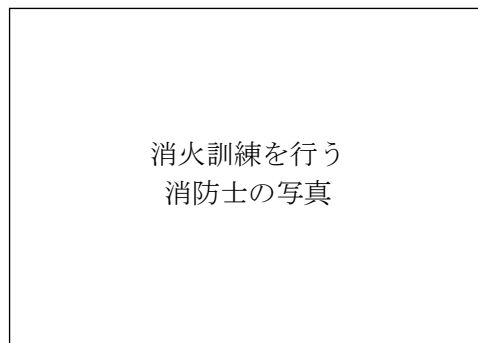
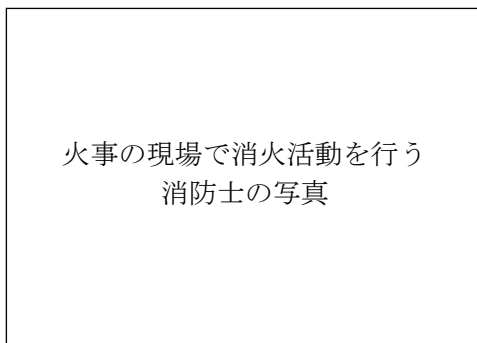
(ふりかえり)

- ・ 学習課題を決めることができた。
- これからの活動が楽しみ。消防署の工夫についてしっかりと調べたい。

写真

写真

(6) 資料



資料1 写真資料

火事が起こった数 (海田町)

年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
件数	12	7	4	3

安芸消防署管内の火事の原因 (平成28年)

種別	たき火	放火	こんろ	たばこ	その他
件数	8	5	4	2	10

資料3 グラフ資料

火災1週間で5件

市内4件が民家

福山市内で火災が相次いでいる。3日から1週間で5件が発災。うち4件が民家火災だった。福山地区消防組合は、たばこの始末など身近なところからの火災予防呼び掛けている。

6日深夜、春日町であった木造民家の火事では親と子の2人が亡くなり、9日は引野町北の民家火災で1遺体が見つかった。三吉町南では5月12日の民家

の全焼に続き、今月3日早朝にも共同住宅で火災があり、2人が煙を吸う軽傷を負った。ことしは6月9日朝までに同組合の管内（福山、府中市、神石高原町）で発生した火災は47件。出火理由が判明した37件のうち、たばこが7件で最も多い。放火やその疑いがあるもの（6件）、スラブ（4件）と続いた。

全消防署で、火災予防の啓発活動を始め、ハトロールの強化や、走行する消防車から、たばこやこんろの扱いに注意を促す音声を出すなどして予防に努める。

（川村正治）